

NEWS RELEASE

美しい驚きを創る。



帝国ホテル

2025年（令和7年）1月29日

2026年春、京都・祇園に開業する新規ホテル 「帝国ホテル 京都」に名称決定



帝国ホテル
京都



IMPERIAL HOTEL
KYOTO

次は、寛ぎの舞台へ

株式会社帝国ホテルは、2026年春の開業に向け京都市東山区で準備を進めている新規ホテルの名称を「帝国ホテル 京都」に決定、あわせてロゴマークを制定いたしました。



帝国ホテル 京都は、京都・祇園甲部歌舞練場敷地内の弥栄会館（やさかいかいかん）の一部を保存活用したもので、帝国ホテルブランドのホテルとしては、東京、上高地、大阪に次いで4軒目となり、1996年の帝国ホテル 大阪のオープン以来、30年ぶりの新規開業となります。

国の登録有形文化財ならびに京都市の歴史的風致形成建造物である弥栄会館は、建物の老朽化や耐震性の問題により本来の用途である劇場を含む大部分が使用されなくなっていました。そこで、地元の人達や観光客に地域のランドマークとして親しまれ愛されてきた弥栄会館を、現代のニーズに合わせたホテルに再生しながら未来へつなぐプロジェクトに挑戦。外壁や構造体の保存、外壁タイル・テラコッタの保存と再利用、銅板屋根や飾り金物の復元などによって、約90年前の風景を未来へ継承してまいります。

なお、《京都のレガシー》と《伝統ある日本のホテルの最高のおもてなし》が掛け合わされた唯一無二の時間を過ごせる場所として、PRコンセプトを次のとおり決めました。

「次は、寛ぎの舞台へ」

帝国ホテル 京都

花街文化の晴れ舞台・歌舞練場に寄り添って、
祇園の町に憩いを届けたもうひとつの舞台、弥栄会館。
堂々と聳えるその姿も、この地で愛されてきた記憶も失うことなく、
これからも誰かの物語を綴る舞台であり続けるために。

「弥栄会館」は「帝国ホテル 京都」へ。

令和八年、ふたたび開場。次は、あなたの寛ぎの舞台へ。

弥栄会館の記憶を継承する

弥栄会館は、耐震性の不足が確認されたことから、現在、「躯体一部保存＋外壁2面保存・増改築」によるホテルへの再生を行っています。記憶の中にある弥栄会館のシルエット、特徴的な意匠を引き継ぐために、現場では次のような試みがいくつも行われました。

●外壁の保存

景観継承の観点から南西面の外壁を残す必要があったほか、施工中の安全性も考慮し、構造体の解体と補強が並行して行われました。また、外観の特徴である軒庇の保存、外装材であるタイルとテラコッタの保存・再利用も行っています。

●銅板屋根の復元

弥栄会館の外観で印象的な屋根は、劣化していたため新たに作り変えました。銅板を使用して、オリジナルの形状と寸法を忠実に再現しました。時間経過とともに金→茶→黒→緑と変化し、やがて工事前のような屋根色になることを想定しています。また、軒丸の“歌”の刻印も復元しています。



●外壁タイルの保存

地元の人達や観光客の目につきやすい南西側の外壁のタイルの大半は、剥落防止措置を行いそのまま残した部分と、“生け捕り”し再利用して貼り直した部分から構成されます。“生け捕り”とは、再利用を前提に、既存の材料に損傷を与えないように取り外すことです。本工事では、外観を構成していたオリジナルのタイル 16,387 枚（解体前建物全体の 10.6%）を生け捕ることができました。



●外壁テラコッタレリーフの保存

外観のもう一つの特徴が、壁面の装飾部材であるテラコッタのレリーフです。状態の良い物はアンカーピンを打ち付けてそのまま固定し、修復が必要なものは一度取り外し塗装を施し再利用しています。

文様は自然や和を感じさせる唐草文様的一种「宝相華（ほうそうげ）」です。



弥栄会館（やさかいかん）

1936年（昭和11年）竣工

2001年（平成13年）より国登録有形文化財

2011年（平成23年）より歴史的風致形成建造物（京都市指定）

歌舞練場を補完する目的と「社会の進展に適應する會館の必要を感じ」（『弥栄會館建築趣旨草稿』）建設された。鉄骨鉄筋コンクリート造、地上5階地下1階建の劇場建築で設計は大林組の木村得三郎による。各階に銅板瓦葺き屋根をかけ、塔屋状の正面中央部は付庇（つけびさし）や宝形造屋根（ほうぎょうづくりやね）が城郭の天守を思わせる造形で、和風意匠の伝統を巧みに織り込んでいる。当初、演劇や人形浄瑠璃などに用いられたが、その後、映画館やダンスホール、コンサートなど各種興業にも利用され、地域の人達から親しまれてきた。

【ご参考】

□帝国ホテル 京都 計画概要（2025年1月29日現在）

●事業内容

計画地において学校法人八坂女紅場学園より土地を賃借し、弥栄会館を活用した新ホテルを建設・運営いたします。

＜ 帝国ホテル 京都 建物の概要 ＞

敷地面積	3,623.17 平方メートル
延床面積	10,804.24 平方メートル
階数	地上7階、地下2階
高さ	31.50 メートル
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造
主要用途	ホテル：客室（55室）、レストラン、バー、 ウェルネス施設（スパ、プール、フィットネスジム）他
着工時期	2022年4月
竣工時期	2025年10月

※本日現在の予定であり、今後変更する場合があります。

●総事業費（概算）

約124億円程度を見込んでいます。

※本日現在の概算額であり、今後の本計画の詳細決定等を受けて、変更する場合があります。

●スケジュール

2021年6月	既存建物（弥栄会館）解体保存工事開始 （学校法人八坂女紅場学園にて実施）
2022年4月	土地賃借開始、当社ホテル建設工事開始
2022年12月	内装デザインを担う建築家として榊田倫之※を起用 （※株式会社新素材研究所 代表取締役所長）
2025年10月	竣工
2026年春	帝国ホテル 京都 開業